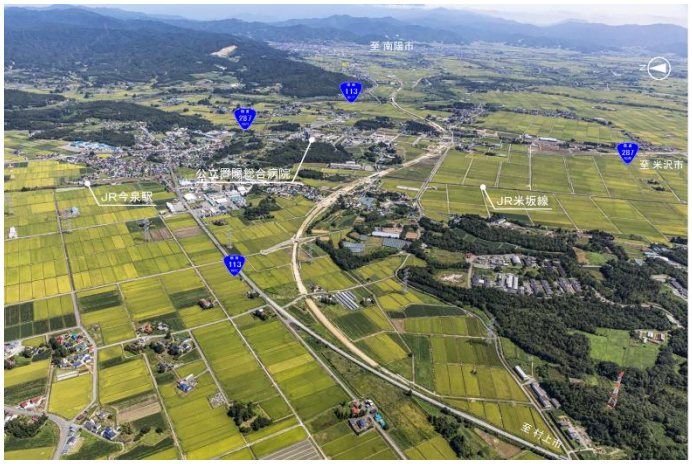
新潟山形南部連絡道路

建設促進要望書



令和５年度開通予定の梨郷道路　川西交差点付近（山形県川西町、長井市）

早期開通を目指して工事が進む鷹ノ巣道路（新潟県関川村）

令和５年度　住民大会〈関川大会〉（10 月 21 日）

小国道路（山形側）起工式（11 月 12 日）

令和５年１２月１４日

新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会

会長　山形県小国町長　仁　科　洋

新潟山形南部連絡道路の整備促進について

新潟山形南部連絡道路は、日本海沿岸東北自動車道と東北中央自動車道に連結し、格子状の高速交通ネットワークを形成する重要な路線であります。

計画路線上に位置する国道１１３号の沿線地域は、交通事故や冬期の通行障害、さらには大規模な自然災害等が発生した場合、広域迂回を強いられ、沿線住民はもとより世界的シェアを誇る製造企業をはじめ経済活動を展開している企業体からも、物流の高速化、安全性とともに直轄国道とのダブルネットワーク構築が強く求められております。

令和４年８月の豪雨災害では、道路の被災に伴う通行止めが発生し、関川村や小国町では人流・物流が止まり、住民生活や産業経済活動などに大きな影響がでました。

また、東北中央自動車道が福島から最上地域までつながったことにより、日本海沿岸東北自動車道と横断的に結ぶ新潟山形南部連絡道路は、国土強靭化の加速化等による安全・安心の確保、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興、地方創生回廊による持続可能な分散型の国づくりを早期に実現するために一層重要な社会基盤となりました。

しかしながら、いまだに事業化されていない区間が多く、早期の全線事業化、事業中区間の一層の事業促進と一刻も早い全線開通が切望されております。

そのような中、待望久しかった「梨郷道路」もいよいよ今年度開通の運びとなり、地元の期待も一層高まっております。さらに、本年８月に山形県側小国～飯豊と１０月に新潟県側片貝～金丸が計画段階評価の手続きに着手されたことは、迂回路が無い県境部の沿線地域にとって、「小国道路（山形側）」の起工式と合わせ大変喜ばしいことでありました。また、１０月に関川村で開催された整備促進に向けた住民大会では、一日も早い道路全線開通を働きかけていくことを確認したところであります。

こうしたことから、新潟山形南部連絡道路の早期実現にかける沿線地域住民と関係機関の熱意と期待を表明し、次の事項について強く要望するものであります。

一　沿線には世界的シェアを誇る製造企業など地域にとっても重要な企業が立地しており、地域経済の好循環や生産性の向上に資するストック効果を早期に発揮させるため、さらには国土の横軸として広域ネットワークを構築する高規格道路「新潟山形南部連絡道路」の整備を推進するため、次の重点事項にご配慮をお願いいたします。

（１）新潟県関川村内「鷹ノ巣道路」(L＝5.0㎞)の事業促進と早期開通

（２）新潟県関川村から山形県小国町までの「小国道路」(L＝12.7㎞)の事業促進

（３）早期事業化に向けた概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）の調査促進

・新潟山形南部連絡道路（片貝～金丸）

・新潟山形南部連絡道路（小国～飯豊）

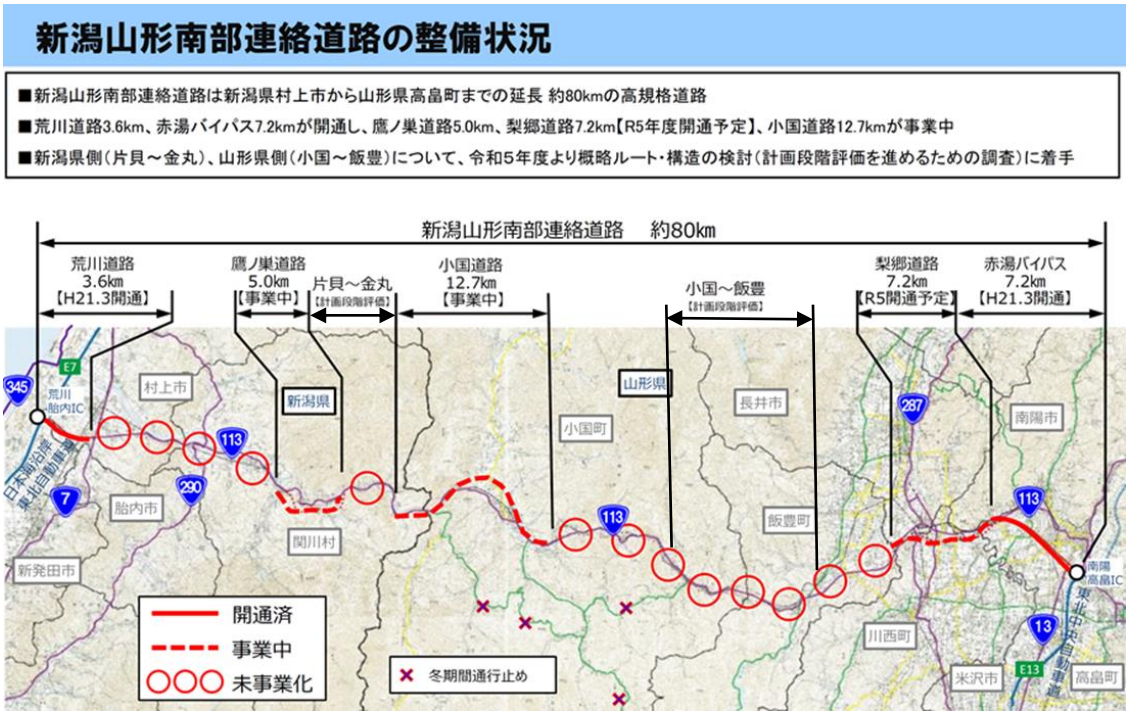
一　国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策に必要な予算・財源について、これまでのペースを緩めることなく、例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること。また、対策期間完了後においても、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、切れ目無く、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に作成し、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保していただくようお願いいたします。

一　激甚化・頻発化する災害に備えるとともに、人流・物流の円滑な移動を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消、暫定２車線区間の４車線化、代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワーク化などを進め、国土をつなぐ幹線道路ネットワークを構築していただくようお願いいたします。

一　持続可能な維持管理を実現する予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、国土強靱化の事業計画等に基づく橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策を推進していただくようお願いいたします。

一　冬期の道路交通確保と大雪時の支援体制の確立を着実に実施するための予算を確保するとともに、激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局及び事務所等の責務に鑑み、更なる出先機関の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる確保に取り組んでいただくようお願いいたします。

一　資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、国・地方を合わせた令和６年度道路関係予算について、必要な予算の確保を図っていただくようお願いいたします。

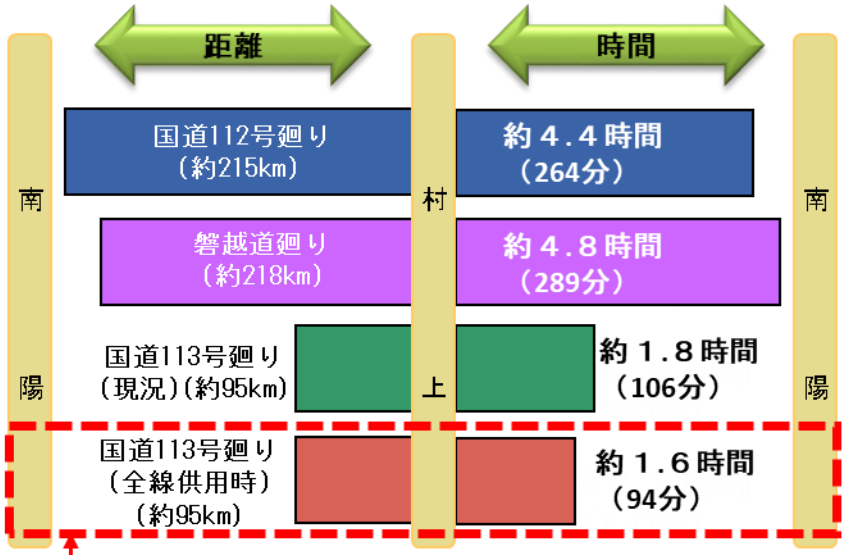


期待される整備効果（リダンダンシー）

出展：羽越河川国道事務所事業概要説明資料

・代替路の確保により、沿道集落の長期孤立の解消、復旧支援の迅速化や広域迂回の解消が期待される。
・磐越自動車道（国道49号）などとともに、日本海側と太平洋側を結ぶ横断軸の１つとしても機能し、広域的な緊急輸送道路ネットワークの更なる強化、信頼性向上が期待される。

●国道113号（新潟山形南部連絡道路）による村上市～南陽市間の所要時間



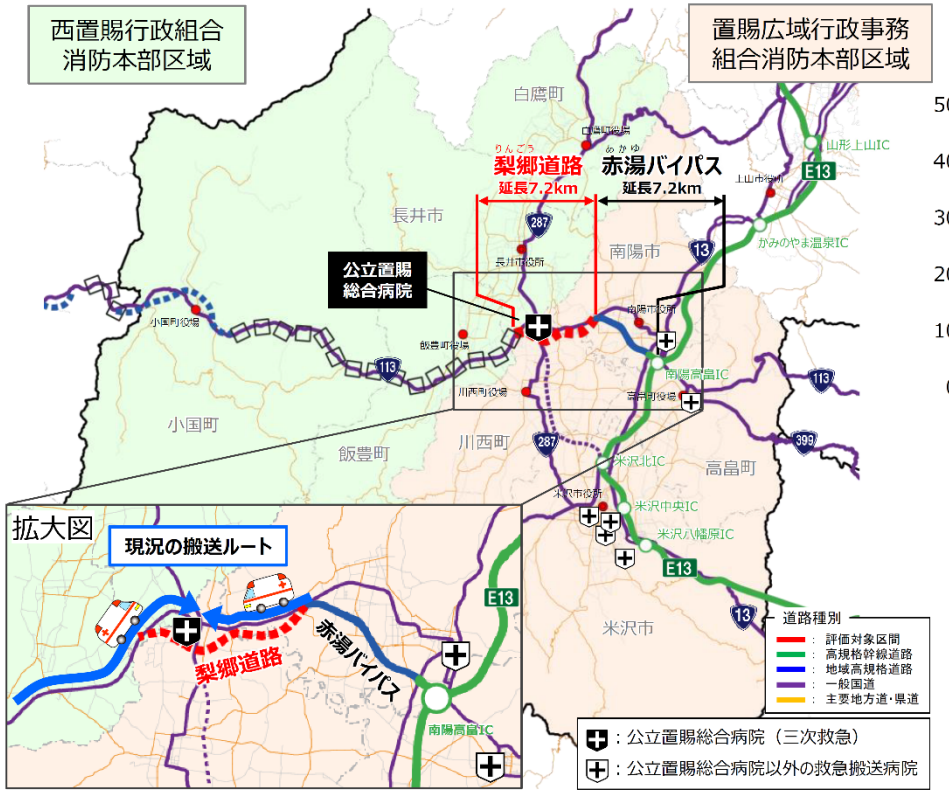
算定条件　現道距離：平成27年度　全国道路・街路交通情勢調査
走行速度：ETC2.0プローブデータ(H29.10)
新潟山形南部連絡道路区間は80km/h

○国道113号は新潟－南陽間を結ぶ最短距離・時間の経路であり、新潟山形南部連絡道路の整備により、更なる利便性向上が期待される
○東北エリアでの骨格道路網の1つとして、広域的なリダンダンシー確保にも大きく寄与するものと思われる。

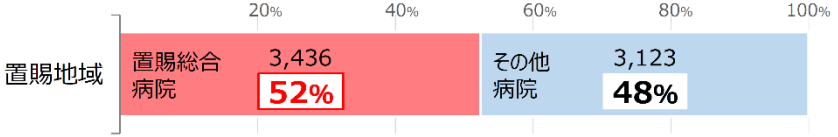
高次医療施設へのアクセス向上

出典：山形河川国道事務所事業概要説明資料

◆置賜地域では、地域唯一の第3次救急医療機関(公立置賜総合病院)への救急搬送割合が52%。
◆現道利用では所要時間にばらつきがあり、時間帯によって搬送時間が異なる。
◆梨郷道路・赤湯バイパスの整備により、所要時間の短縮（約12分）や定時性の向上（約3分）が見込まれ、置賜地域における高次救急医療施設への救急搬送を支援。

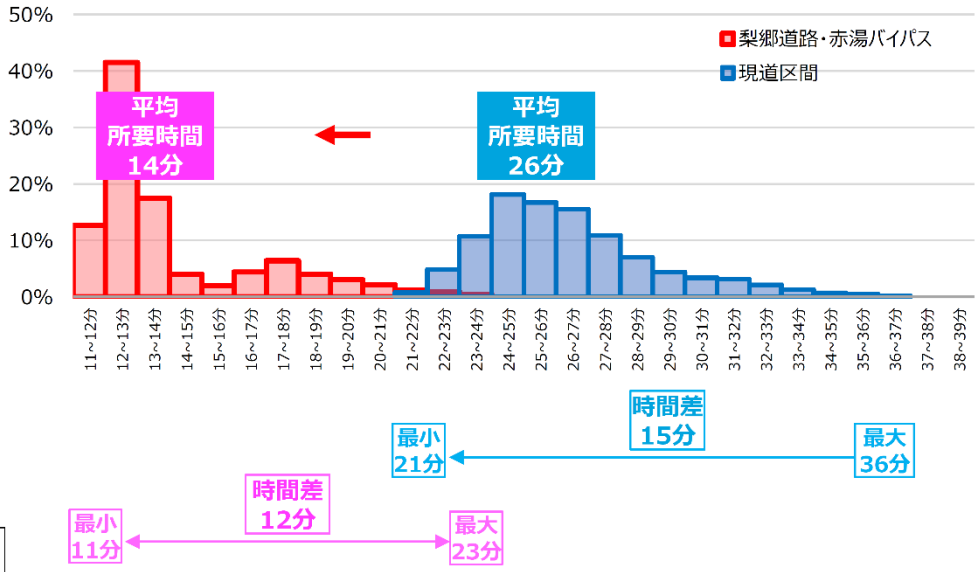


▼置賜地域の救急搬送先割合（R2.1～R2.12）



出典：R2救急・救助統計（西置賜行政組合消防本部、置賜広域行政事務組合消防本部）

▼梨郷道路・赤湯バイパス及び並行現道区間の所要時間の分布



▼梨郷道路・赤湯バイパス整備前後の「所要時間の短縮と定時性の向上」

梨郷道路・赤湯バイパス区間の所要時間の短縮

約12分短縮（約26分→約14分）

梨郷道路・赤湯バイパス区間の定時性の向上

約3分短縮（約15分→約12分）

出典：ETC2.0道路プローブデータ(R３.10)
（梨郷道路の所要時間分布は、赤湯バイパスの所要時間分布を元に試算）

令和4年8月の大雨による被害への対応

出典：山形河川国道事務所事業概要説明資料

- 新潟県と山形県を結ぶ国道113号が被災。山形県小国町が一時的に孤立。
- 昼夜を問わない応急復旧作業により、約2日で1車線を確保。

物流の安定性・速達性を図り 世界的シェアを誇る地域産業を支援

山形県小国町

クアーズテック株式会社　小国事業所

クアーズテック株式会社 小国事業所の概要

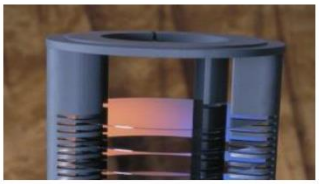
・小国事業所は複数ある事業所の中でも最新鋭の主力生産拠点。主に半導体製造プロセスに使用されるセラミック部材を製造。また、世界シェア8割を誇る小型モーター用電刷子を製造。

・小国町内の就業者数の約2割超える雇用を創出。今後の売上増加による雇用の拡大にも期待。

売上高の推移 (単位：百万円)

小国事業所の主要生産製品

・半導体製造装置用セラミック部材の製造


▲半導体熱処理炉用部材

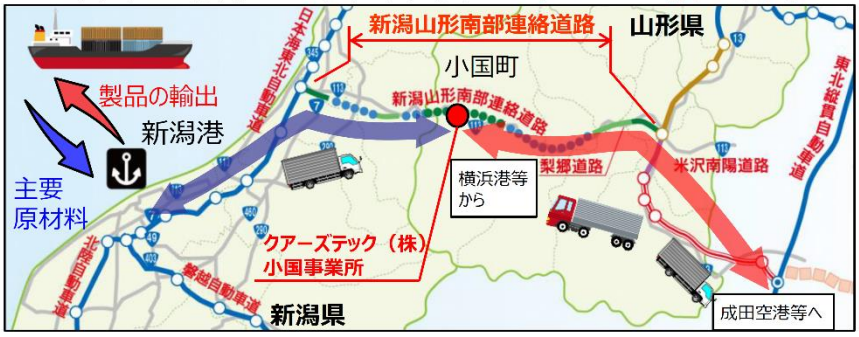
世界シェア

・小型モーター用電刷子の製造

▲小型モーター用電刷子

世界シェア

新潟山形南部連絡道路の整備により、日東道・東北中央道と接続し、原材料・製品の物流を大幅に改善



<クアーズテック小国事業所の話>

・昨年の8月の水害では、国道113号が全面通行止めとなり、工場が孤立、従業員が帰宅困難となりました。物流も停止し、原材料の搬入、製品の出荷ができなくなる事態となりました。半導体需要の強い需要が継続しており、工場はフル操業を継続、納品遅延は、重要顧客から厳しく是正を求められている状況です。**新潟山形南部連絡道路の早期開通は、工場の操業において、これから益々重要になると考えます。**

安定した物流網、ライフラインの強化により、企業のＢＣＭ、ＢＣＰ（事業継続計画）に貢献

日本重化学工業株式会社

資料提供：日本重化学工業（株）

本社：東京都中央区新川一丁目17番25号

資本金：1億円　従業員：483名（2023年9月末）

山形事業所　小国工場

山形県西置賜郡小国町232

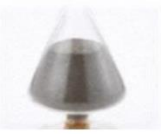
従業員：236名（2023年9月末）

高容量電池材料・新工場(2018年２月完成)

日本重化学・山形事業所の主要製品

xEV(電気自動車やハイブリッド車など）用電池材料や半導体用の高純度ターゲット材料を生産し、国内・海外に供給。

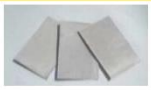
- ｘEV用電池材料
- 半導体用ターゲット材料
- ｘEV搭載モーターに使用される磁石材料
- 市販充電池用負極材料
- FPD用高純度ターゲット材料



ニッケル水素電池用
水素吸蔵合金

高容量電池材料

FPD用
ターゲット材料



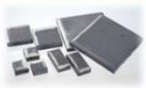
半導体用
ターゲット材料

レアアース等の高度リサイクル事業

使用済みxEVなどから回収された電池や磁石から、レアアースやレアメタルを高純度で抽出し、資源の国内循環に貢献。

- 使用済みニッケル水素電池のリサイクル
- 半導体用高純度ターゲット材料のリサイクル
- リチウムイオン電池からのレアメタル高度リサイクル
- ｘEV用磁石材料のリサイクル

使用済み
車載電池



各種原料・
副資材

小国町から世界へ、世界から小国町へ

物流交通網は、生産活動の生命線

新潟山形南部連絡道路　約80Km

日本重化学工業(株)山形事業所小国工場

＜日本重化学工業(株)山形事業所の話＞

世界最先端の電池材料、電子材料などを独占的に供給しており、冬期間でも安定した物流網の確保は大変重要である。東日本大震災により、主要ユーザーからＢＣＭ、ＢＣＰ（緊急事態における事業継続マネジメント、危機管理）の強化を強く求められており、新潟山形南部連絡道路の早期整備に大変期待している。

新潟山形南部連絡道路（関川村片貝から金丸間）

早期事業化へ！

新潟県関川村

一般国道113号の関川村片貝から金丸間は、村内でも特に降雪日数及び降雪量が多い豪雪地帯となっており、積雪や運搬排雪による車線規制や大雨による道路冠水で通行止めも発生しています。

また、沿線住民にとって唯一の生活道路であり、さらに、隣接する小国町で勤務する住民の通勤道路となっていますが、事故等が発生した際は迂回路がありません。

東日本大震災時には被災者の避難、救援ルートとして、また、復旧に向けての物流ルートとして大きな役割を果たしており、道路ネットワークの代替性を確保すべきルートであります。

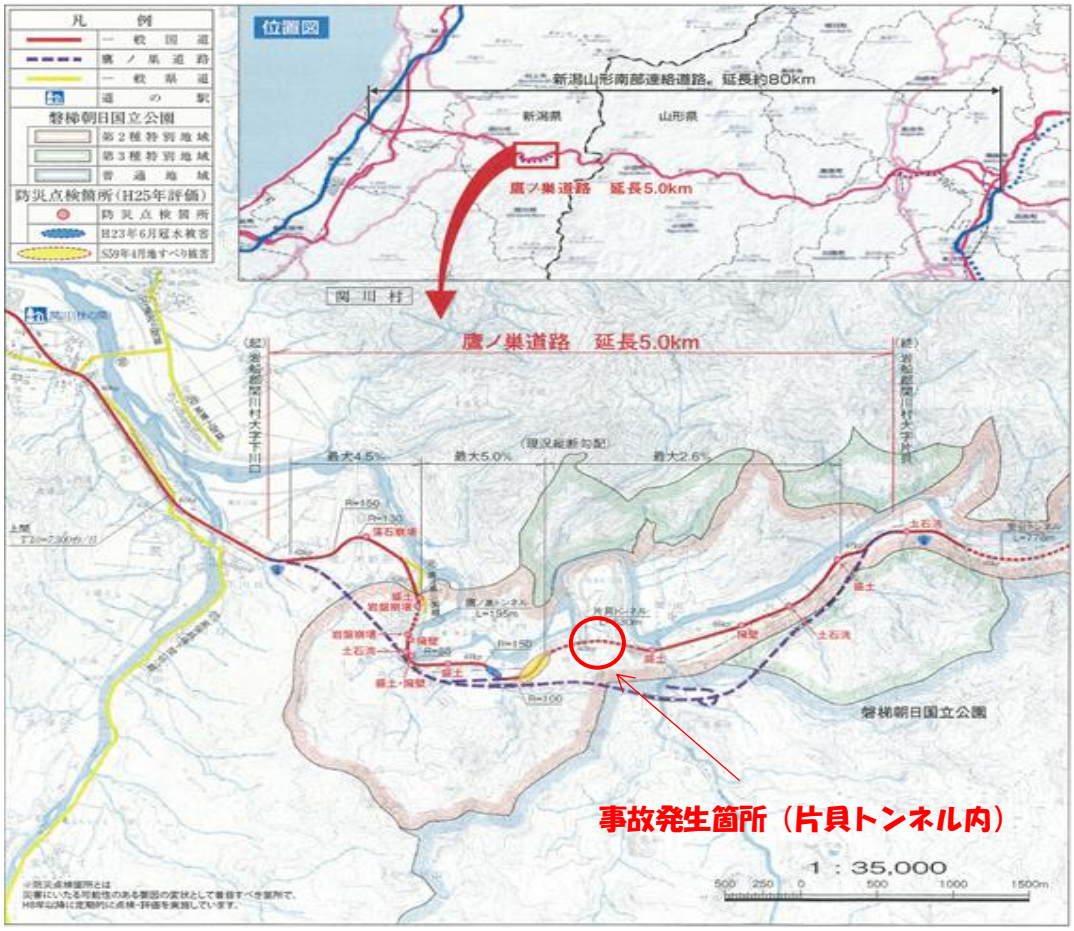
新潟山形南部連絡道路は、沿線地域住民にとって真に必要で、唯一の「命の道」となる道路であることから、早期実現は悲願であり、関川村片貝から金丸間の早期事業化を強く要望します。

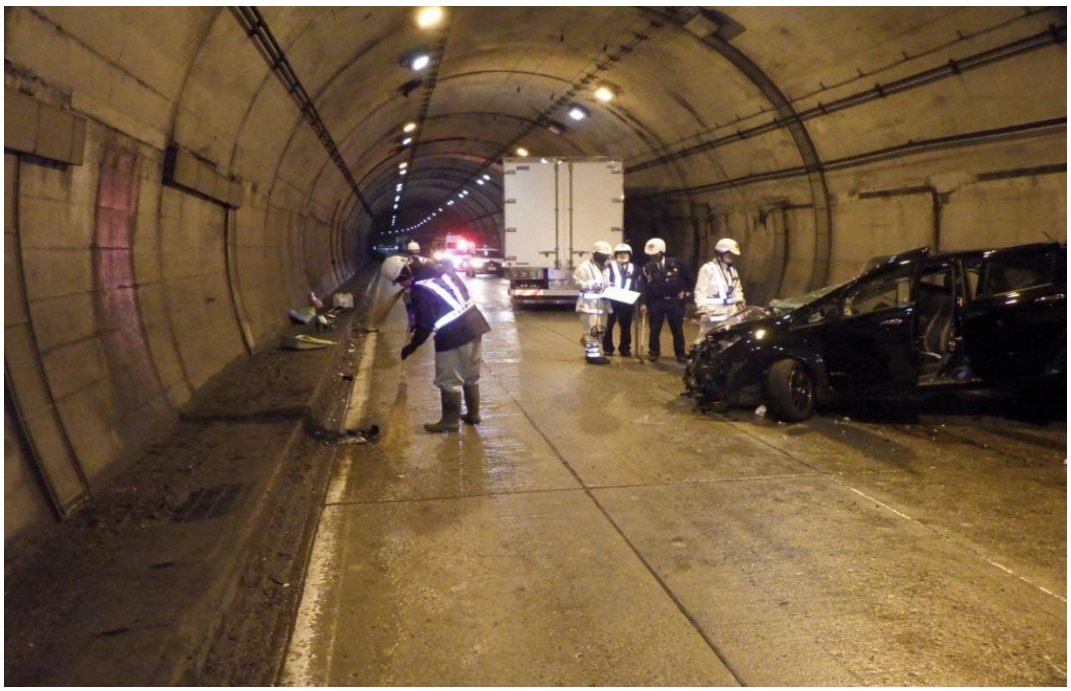
積雪や運搬排雪による車線規制

大雨による道路冠水で通行止め

令和３年４月５日（月）新潟県関川村～山形県小国町間の国道 113 号トンネル内での車両事故のため、５時間の全面通行止め

■全面通行止め　午前７時 24 分～　　■通行規制解除　午前 12 時 24 分





事故発生場所　国道 113 号「片貝トンネル内」（大型車と軽自動車の車両事故）

山形県長井市

観光・物流・命をつなぐ
新潟山形南部連絡道路の早期完成に期待

長井の魅力を発信、観光客のまちなかへの呼び込み

地域連携DMO
「やまがたアルカディア観光局」による広域観光の振興

・113号線沿いの市町連携で、置賜地域の魅力を一括発信
・地域の魅力を生かした滞在交流旅行の企画・販売
・長井ダム水辺空間のオープン化による賑わいの創出

R5年度完成　遊びと学びの交流施設くるんと

水陸両用バスの運行

ダム湖を利用した体験アクティビティ

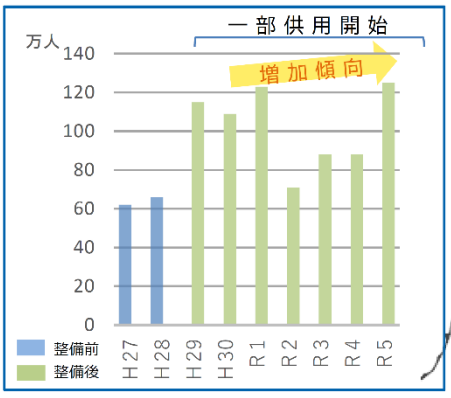
観光交流センター
道の駅　川のみなと長井

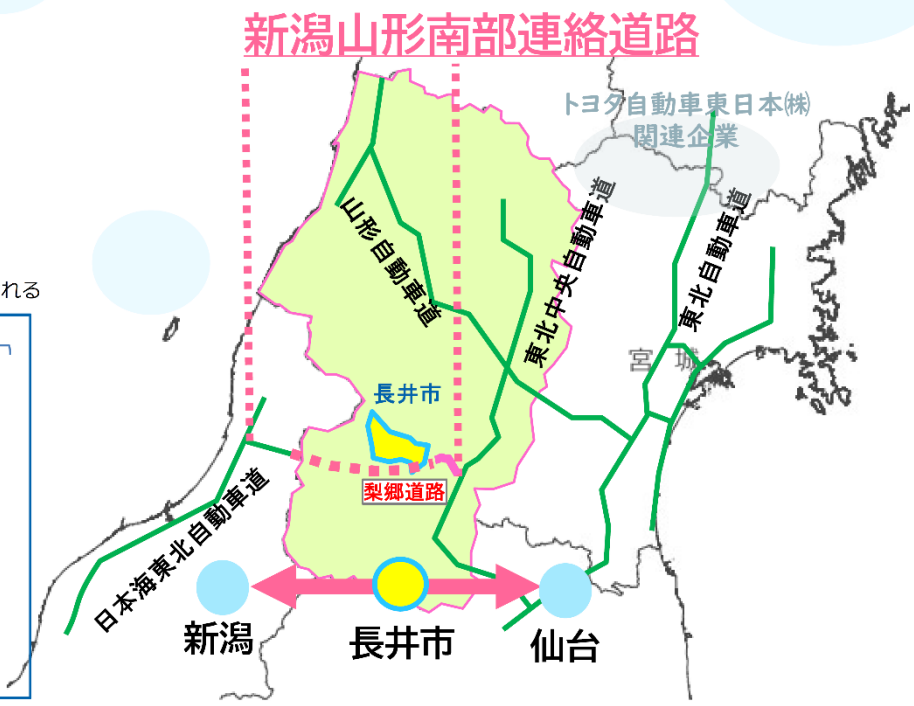
学びと交流の拠点
旧長井小学校第一校舎

全国初の駅と一体化した庁舎

観光客数の推移と予測

交通の利便性向上による観光客数増が期待される





–新潟山形南部連絡道路の完成により、環太平洋経済圏と環日本海経済圏がより近くに–
中間に位置する長井市は、高規格道路活かした観光・産業・防災の拠点を目指す

物流の効率化と安定化がもたらす産業振興
新産業団地の整備による新たな雇用と賑わいを創出

新潟山形南部連絡道路「梨郷道路」に隣接した新産業団地の基本計画を策定

・名称を“長井南産業団地”と決定し、R8年度に販売を開始予定（R5年度　土地利用調整、R6年度　造成工事着工）
・地方への本社移転、サテライトオフィス誘致の受け皿
・地元企業の受注拡大、物流コストの削減
・開発型産業や環境関連、ICT等の発展産業の集積

産業振興拠点「タスビル」の機能強化による新たな賑わいの創出

「タスビル」は健康増進や地域資源を活かした新たな賑わいを生むため、産業振興の拠点として、改修事業を行っています。
・インキュベーション機能を設置
・サテライトオフィスの設置
・ワーケーションオフィスの設置

・産業振興拠点「タスビル」

・インキュベーション機能
(i-bay(アイベイ))

・サテライトオフィス
(コワーキングスペースプラス2)

・ワーケーションオフィス
(ワーケーションルームプラス3)

企業集積（拠点化）を加速

○ 酒造：㈱鈴木酒造　（H23 浪江町から誘致）
○ 送配電金具製造：古河電エパワーシステムズ㈱　（H24 長井を拠点に）
○ 航空機ギャレー製造：㈱青山工業　（H26 村上市から誘致）
○ 発電機・ダム用サイレン製造：㈱精工社製作所（H27 川口市から移転）
○ プレス機（造幣局等納入）：㈱能率機械製作所（H27 浦安市から長井を拠点に）
○ NKCながいグリーンパワー㈱（H29 長井を拠点に発電開始）

ストック効果の最大化・観光地の周遊性向上に貢献　新潟県村上市

◎持続可能な地域づくりを支え、雇用増加・経済活性化に貢献

- 日本海側の「日本海沿岸東北自動車道」と太平洋側を結ぶ「新潟山形南部連絡道路」は、安定的なネットワークの形成、アクセスの向上、移動時間の信頼性確保に不可欠な重要な道路であります。
- 村上市では、道路整備を見越し、航空機関連の世界トップメーカーが進出しており、企業誘致、工場の拠点化、地元からの雇用増加が図られる等、ストック効果の発揮が期待されます。
- 地方創生による地域の自立と活性化を促し、将来にわたって安心して快適に暮らせる持続可能な地域づくりを支えるためにも、重要な道路であります。

産業

社会資本整備を見越し、航空機内装品の世界トップメーカー（株）新潟ジャムコが新潟県村上市に進出　※地元から大量雇用！

【（株）新潟ジャムコ】

- 操業開始（Ｈ２）
- 工場面積は操業当初の**約６倍の面積**
- Ｈ２８には胎内市で**第３工場の操業を開始**
- 高規格道路沿線の㈱新潟ジャムコ・航空機関連企業数　H23：15社　⇒　R5：21社　※約1.4倍

化粧室(ラバトリー)
世界シェア約５割

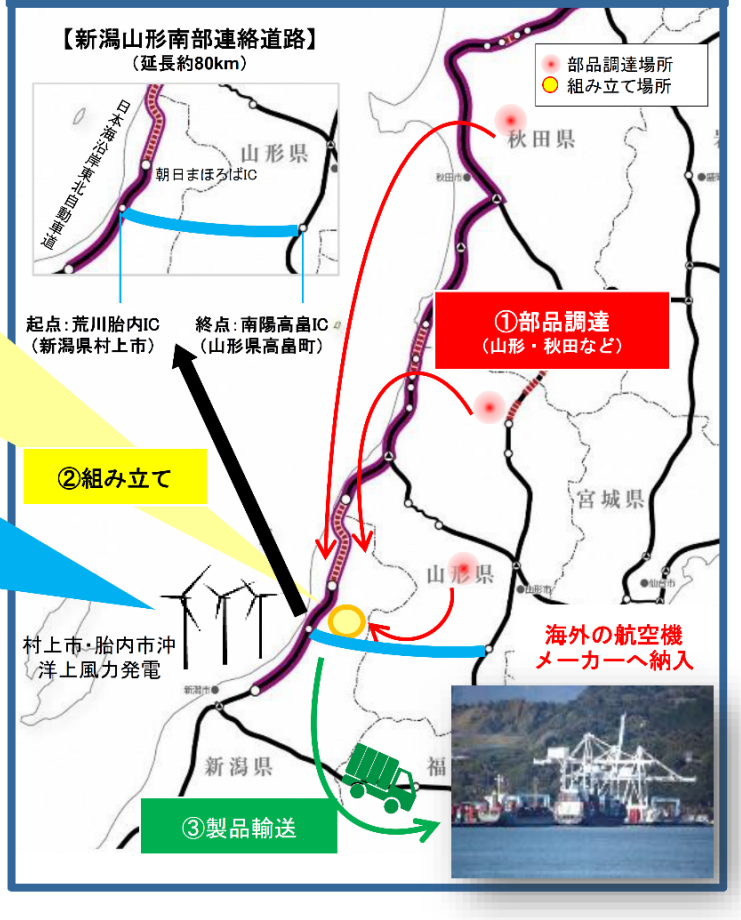
厨房施設(ギャレー)
世界シェア約４割

※各種データ：
（株）新潟ジャムコHP及び新潟県村上市地域経済振興課データより

洋上風力発電の今後に期待

再エネ海域利用法に基づく洋上風力発電の導入が進み、村上市・胎内市沖が促進区域に指定され、事業者の公募、海底地盤調査等が進められるなど、事業の進展により交通網高速化の要請が高まっている。

村上市を中心とした航空機関連企業

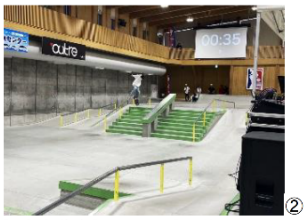


◎観光地の周遊性向上が図られる

- 新潟・仙台を最短ルートで結ぶ新潟山形南部連絡道路の整備促進は、広域的な周遊観光の高まり、沿線市町村・観光地域の活性化に必要不可欠です。

【村上市スケートパーク】

①



②

①令和4年3月、スポーツ庁ナショナルトレーニングセンター（スケートボード競技）に指定。日本海東北自動車道 荒川胎内IC（新潟山形南部連絡道路起点）から車で約15分。
②令和5年10月に開催された、（一社）日本スケートボード協会主催の「AJSA全日本アマチュア選手権大会」の様子。

飯豊電池バレー構想の加速化と
飯豊町貸工場活用による町内への新産業集積を目指す

山形県飯豊町

◆飯豊町起業支援施設でのリチウムイオン電池研究成果を活かし、ベンチャー企業が更なる取引拡大に向け加速中！
飯豊町起業支援施設を中核施設としてリチウムイオン電池関連産業の集積を目指す『飯豊電池バレー構想』を推進し、構想発ベンチャー企業の更なる取引拡大による成長を目指し、町内へのリチウムイオン電池関連企業の誘致、交流人口拡大、雇用創出、人材育成を加速する。

◆東北初となる専門職大学の開学！
令和5年4月に開学した「電動モビリティシステム専門職大学」の技術力・知的資源を活用し、自動車産業の集積化、EV製造関連サプライチェーンの構築、地元企業の強靭化を支援。

◆国道113号沿線の東山工業団地に飯豊町が工場建物を整備し、飯豊町内に新たな企業進出が内定！
飯豊町貸工場の使用企業に、三菱鉛筆株式会社（東京都）が内定。主要事業である筆記具製造のほか、他県拠点において新事業としてリチウムイオン電池の研究開発や化粧品事業を展開中。飯豊町貸工場使用に伴い首都圏・海外向け製品の新たな高速輸送経路の構築が必要であり、災害発生時のリスク回避及び輸送コストの削減を含め、新潟方面からの高速輸送経路構築を検討中。高速輸送経路の整備促進により飯豊町貸工場の新事業分野主要製品製造拠点としての利用も目指し、高付加価値製品の集積を目指す。

飯豊電池バレー構想による新産業集積事業の概要

・飯豊町起業支援施設整備
（国内でも有数の一気通貫型リチウムイオン電池研究開発施設）
・飯豊町貸工場整備（令和2年度竣工）
・雇用の受皿として移住、定住促進のため住宅団地整備
・電動モビリティシステム専門職大学の誘致・開学による新産業人材育成
・大手企業と地元企業との交流機会の創出
・来町者向けホテルなどの整備促進　など

大型二次電池 世界市場
14兆9,610億円
（2030年予測）
（2018年比3.8倍）

電気自動車 世界市場
72兆7,980億ドル
（2050年予測）

筆記具 世界市場
210億米ドル
（2035年予測）

【金融機関】
・ビジネスモデル構築
・経営戦略策定

【企業】
・人材育成
・研究開発

・金融支援
・共同研究
・技術支援
・雇用連携

飯豊町起業支援施設 電動モビリティシステム専門職大学

【主な目的】
・ベンチャー企業の取引拡大に伴う雇用創出
・新産業分野の専門職人材育成
・企業の学び直しのための環境整備に伴う交流人口拡大
・実務家教員による企業の高付加価値製品の研究開発支援
・県内金融機関による企業の新分野進出のための金融支援
・学生の地域内定着による地域活性化

域内事業連携

飯豊町貸工場

【使用企業】
三菱鉛筆株式会社

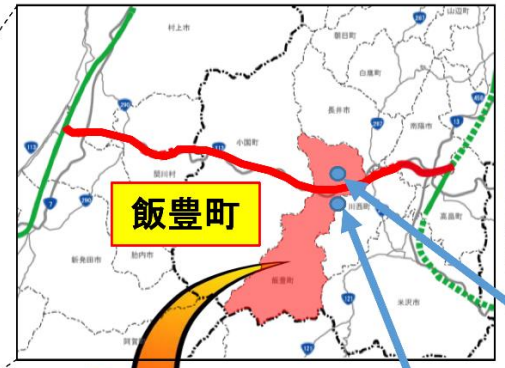
・筆記具製造
・リチウムイオン電池研究開発
・化粧品事業

雇用：約60名

道路のストック効果 ～最先端技術産業の企業誘致、拠点施設化と雇用増へ～

- ◆ 新たな産業の集積化を目指し、貸工場の建設
- ◆ 製造拠点施設の整備が進められ完成した（株）デンソー山形の工場拡張
  - → 約300人の雇用増加が図られ、生産体制が強化
- ◆ 「飯豊電池バレー構想」のもと、中堅即戦力エンジニアの人材育成
  - → 電動モビリティシステム専門職大学の開学（令和5年4月開学）

【事業効果】
★ 共同企業ブースにおける国内外企業（台湾等）との共同研究、研究者の集積、雇用の創出



国内企業等

★ 町内産業への経済効果
★ 企業の拠点誘致
→ 国内外との流通の大幅な増加

（株）デンソー山形の工場拡張

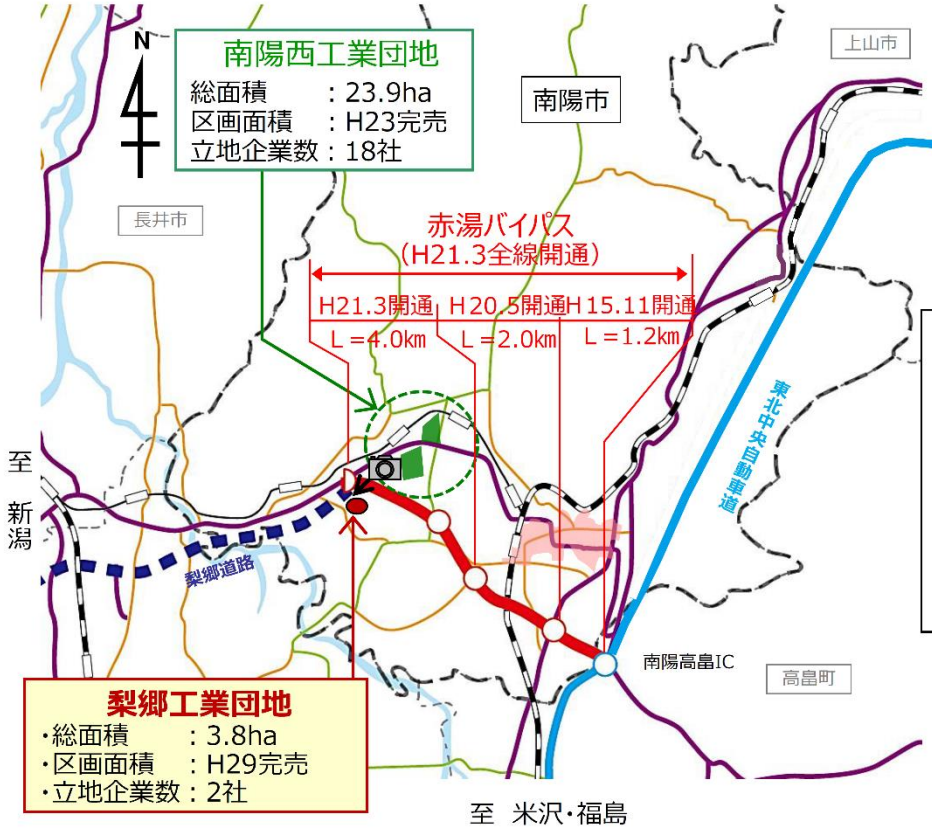
新産業集積化の貸工場建設

新潟山形南部連絡道路の開通により物流の高速化が実現、産業の振興が図られ町内景気と地域の活性化が期待される

南陽市

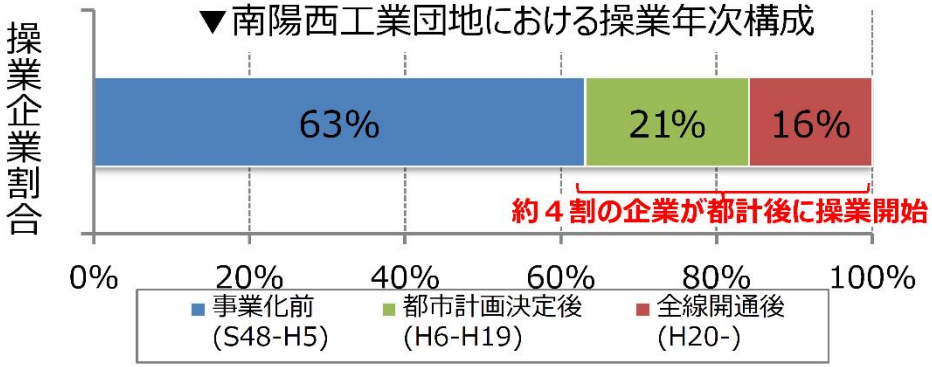
◆赤湯バイパスの道路整備にあわせて南陽西工業団地への進出企業が増加し、完売
◆さらに、梨郷道路との結節点において梨郷工業団地を造成し、完売

▼南陽西工業団地位置図



凡 例
- ：高規格道路
- ：地域高規格道路
- ：地域高規格道路（事業中）
- ：国道
- ：主要地方道
- ：一般県道
- ：DID(H27)

▼南陽西工業団地における操業年次構成



【近年の企業立地状況】
H20．6　(株)大岸製作所　操業
H22.10　フコク物流(株)　操業
H23．5　沼田工業(株)　操業
H29．3　エヌ・デーソフトウェア(株)　事業用地拡張
H30.10　青木(株)　工場増設
R 4．4　青木(株)　事業用地拡張
R 4.10　山形食品(株)　新工場操業
R 4.10　フコク物流(株)　新倉庫操業

○赤湯バイパスの開通により企業誘致に成功
○いずれの企業も赤湯バイパスが立地の決め手となった

新潟山形南部連絡道路（梨郷道路）の早期完成

山形県川西町

■メディカルタウン形成による定住・交流人口の拡大

川西町は子育て世代の流出などにより人口減少が加速的に進んでいます。町では、課題解決に向けたリーディングプロジェクトとして、新潟山形南部連絡道路(梨郷道路）川西交差点付近に「メディカルタウン」を形成することによって、定住人口の創出と交流人口の拡大を目指しています。

■病院への緊急輸送路「いのちの道」として

新潟山形南部連絡道路が整備され、梨郷道路の出入口が接続されることにより、置賜地域の高度医療施設である公立置賜総合病院への緊急輸送路として、地域住民の安全・安心を確保する「いのちの道」として期待されています。

■梨郷道路の早期完成に期待

このことから、新潟山形南部連絡道路は産業・文化等の交流や新たな経済圏の創出、また何より地域住民の安全・安心を確保する重要な路線であり、特に梨郷道路７．２ｋｍ区間（南陽市から長井市間）の早期完成を強く要望するものです。

【整備コンセプト】

『メディカルタウン』の形成

○ 公立置賜総合病院が置賜地域の中核医療施設として発展するための医療、住宅、商業等が融合した都市的機能を有する『メディカルタウン』の形成を図る。

○『メディカルタウン』への定住人口の創出並びに交流人口の拡大を目指す。

【目標宣言後の影響・取り組み等】

○ 住宅分譲地(第１次区域)分譲開始
《17区画中17件申込あり（令和5年11月現在）》

○ 診療機関(内科呼吸器内科、整形外科、調剤薬局)開業（令和4年6月1日）

○ ツルハドラッグ 置賜病院前店開業（令和4年11月10日）

○ ㈱ヤマザワ 川西ﾒﾃﾞｨｶﾙﾀｳﾝ店開業（令和5年4月22日）

新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会

会　　長	山形県小国町長	仁　科　洋　一
副 会 長	新潟県関川村長	加　藤　　弘
副 会 長	山形県長井市長	内　谷　重　治
監　　事	新潟県村上市長	高　橋　邦　芳
監　　事	山形県飯豊町長	後　藤　幸　平

【会　員】

新　潟　県

新発田市長	二階堂　　馨
胎内市長	井　畑　明　彦
聖籠町長	西　脇　道　夫
粟島浦村長	脇　川　善　行
新発田市議会議長	宮　崎　光　夫
村上市議会議長	三　田　敏　秋
胎内市議会議長	小　野　徳　重
聖籠町議会議長	宮　澤　光　子
関川村議会議長	小　澤　　仁
粟島浦村議会議長	神　丸　勝　博
新発田商工会議所会頭	佐　藤　哲　也
村上商工会議所会頭	川　崎　　久
豊浦商工会長	野　口　政　男
聖籠町商工会長	栗　原　修　司
加治川商工会長	中　野　康　平
紫雲寺商工会長	小　林　豊　男
中条町商工会長	井　上　喜美男
黒川商工会長	小　谷　　淳
関川村商工会長	中　倉　虎　治
荒川商工会長	山　田　俊治郎
神林商工会長	野　澤　道　雄
朝日商工会長	渋　谷　　浩
山北商工会長	加　藤　英　人

山　形　県

米沢市長	中　川　　勝
南陽市長	白　岩　孝　夫
高畠町長	髙　梨　忠　博
川西町長	原　田　俊　二
白鷹町長	佐　藤　誠　七
米沢市議会議長	相　田　克　平
長井市議会議長	鈴　木　富美子
南陽市議会議長	舩　山　利　美
高畠町議会議長	関　　陽　介
川西町議会議長	井　上　晃　一
白鷹町議会議長	菅　原　隆　男
飯豊町議会議長	菅　野　富士雄
小国町議会議長	安　部　春　美
米沢商工会議所会頭	加　藤　英　樹
長井商工会議所会頭	加　藤　眞佐夫
南陽市商工会長	菅　野　直　彦
高畠町商工会長	山　村　義　美
川西町商工会長	寒河江　輝　文
白鷹町商工会長	吉　田　博　之
飯豊町商工会長	冨　永　春　次
小国町商工会長	伊　藤　通　芳

【事務局】　〒999-1363　山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目 70 番地
山形県小国町役場地域整備課（新潟山形南部連絡道路推進室）
TEL0238-62-2431/FAX0238-62-5464

【関連民間組織体】新潟山形南部連絡道路早期実現推進協力会

・小国町推進協力会（H26.12.5 設立）　会長：小林 新太郎
事務局／山形県小国町商工会内

・「関川－小国間」関川村協力会（H28.7.6 設立）　会長：中倉 虎治
事務局／新潟県関川村商工会内

・「飯豊町区間」飯豊町協力会（H30.7.10 設立）　会長：冨永 春次
事務局／山形県飯豊町商工会内